



はばたき

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく伸びてゆく生徒の育成

令和5年度
札幌市立定山溪中学校
学校だより
第4号
令和5年7月25日

『志定まれば 気盛んなり』

校長 関根 昌彦

本日で1学期が終了しますが、皆さんはこの1学期をどのように過ごしたでしょうか。1年生にとっては全てが新しいことばかりで中学校生活にようやく慣れてきたころではないでしょうか。また、2、3年生にとっては、宿泊を伴う宿泊学習や修学旅行を通して、たくさんの思い出を作るとともに、充実した見聞や体験を得ることができたと思います。旅行的行事発表会を見て、「皆さんは、確実に成長をしてくている」と、校長先生は感じています。

さて、話は変わりますが、みなさんはどのような週末を過ごしていますか。私の場合は、特に日曜日は見たいテレビ番組があり、時間をやりくりするのが大変です。アニメ、特撮ドラマ、情報バラエティや大河ドラマなどその一日では見切れないほどです。特に最近、大河ドラマ「どうする家康」にはまっております。中学校の歴史で勉強した江戸時代を築いた人物について、これまでとは違った角度から切り込んではいませんが、学んだ出来事が次から次に登場し、より深く学ぶ機会となっております。ドラマではまだ織田信長の全盛期ですが、この後、豊臣秀吉の天下統一、関ヶ原の戦いなどで出てくるかと思うと、楽しみで仕方ありません。そんな家康が築いた江戸時代もおおよそ260年続きます。

皆さんはこの江戸時代末期に登場してくる長州藩士 吉田 松陰（よしだ しょういん）という人を知っているでしょうか。松陰は松下村塾（しゅうかそんじゅく）で、明治時代に活躍して初代総理大臣になった伊藤博文など、多くの逸材を育てた人です。松陰は数多くの名言を残していますが、本日はそのうちの一つを紹介したいと思います。

それは、「志定まれば、気盛んなり」です。志とは、心に決めた目標に向けて進もうとする気持ち、決心のことです。この名言の意味は、「目標への気持ちが志（こころざし）としてはっきりすれば、自ずとやる気や意欲が生じる」ということです。

また、松陰は目標を決めるだけでは十分ではない、なぜその目標を定めるのか、その目標を達成する意味は何かを自分で明らかにしたり、価値あることだろうかと自分でしっかりと考えたりすることが大切だと考えていました。

松陰は、塾生がしっかりと考えるために、松下村塾において「抄録」（しょうろく）という方法で主体的な学びを実現させていました。抄録とは、何か素晴らしい考えを教えられるのではなく、本をよく読んで、感銘したり、共感したりした文章を自分で選び、なぜこの文章にひかれたのかをよく考えながら、その文書をそっくり写し、書き出した文章をもう一度読んでから考えるというものです。この方法により、自分で感じたことや考えたことがより深められていくのです。

さて、明日からは夏休みです。皆さんも夏休みの目標を立てたと思います。松陰の教えのように、目標を立てるだけでなく、なぜその目標を立てたのか、その目標を達成することの意義を深く考えて、自分の目標に向かって様々な方法を試しながら、主体的に取り組むように努力してほしいと思います。そして、休み明けは、夏休みが充実したものだったといえるようにしてほしいと思います。2学期の始業式には、また皆さんの元気な姿を見せてほしいと思います。

陸上記録会

7月7日(金)本校グラウンドにおいて、陸上記録会が実施されました。種目は100m走から始まり、ハンドボール投げ、走り幅跳び、女子1000m、男子1500m走、リレーと続きました。最後に、レク種目としてモルックに挑戦しました。本番に向けて一生懸命昼休みに練習し、チームが力を合わせて、楽しいひと時を過ごすことができました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、学校まで足をお運びいただき応援してくださり、ありがとうございました。



定山溪地区を明るくする標語を募集

定山溪地区青少年健全育成推進会では、地域を明るくする標語を募集しています。〆切は8月25日始業式です。提出された全員の標語は2階廊下に掲示する予定です。

森林教室

7月19日(水)第2回森林教室が実施されました。小さな虫がたくさんいましたが、楽しく活動に参加することができました。

森林ふれあい推進センターの方の御指導のもと、定山溪国有林「ゆめの森」の広場や歩道の草刈り、除草のためのトドマツチップ散布、全員でカミネッコンとポット苗を作製しました。暑い中の作業でしたが、定山溪中学校伝統の森林教室の取組をこれからも大切にしてほしいと願っています。



◇夏季休校日のお知らせ◇

8月10日～15日は夏季休校日となり、職員不在で学校は閉鎖しております。御了承ください。